

授業科目、担当者（実務経験のある教員等含む）及び時間数の一覧

2021 年度

学校名	国際ペット専門学校金沢
学科名	動物看護学科

単位時間

区分	科目名	教員名	実務経験の有無	1年次		2年次		3年次		合計	
				前期	後期	前期	後期	前期	後期		
授業科目及び授業時間数表	専門科目	グルーミング実習	藤田 恵理	○	240	120					360
		グルーミング理論Ⅰ	宮腰 隼人	○	30						30
		家庭動物管理学	小西 伴彦	○	30						30
		ペットケアアドバイザー	久木 悠愛	○	60						60
		犬のしつけ学Ⅰ	小西 伴彦	○	30						30
		犬学	長尾 麻紀子	○	60						60
		社会人基礎力	山本 明夫		30						30
		動物内科看護学演習	横山 歩	○		60					60
		動物形態機能学Ⅰ	中村 武文	○		60					60
		動物形態機能学実習Ⅰ	中村 武文	○		30					30
		動物繁殖学	久木 悠愛	○		30					30
		動物福祉・倫理	横山 歩	○		30					30
		人間動物関係学	小西 伴彦	○		30					30
		動物看護学概論	久木 悠愛	○		60					60
		動物感染症学	中山 小百合	○		90					90
		小 計（単位時間）					480	510			
	専門科目	動物形態機能学Ⅱ	岡田 俊夫	○			60				60
		動物形態機能学実習Ⅱ	岡田 俊夫	○			30				30
		動物臨床検査学	石田 清久	○			30	30			60
		動物臨床検査学実習	石田 清久	○			30	60			90
		伴侶動物学	横山 歩	○			30	30			60
		動物外科看護学	中山 小百合	○			30	30			60
		動物外科看護学実習	中山 小百合	○			30	60			90
		動物薬理学	中山 小百合	○			30	30			60
		動物病理学	岡田 俊夫	○			30				30
		動物臨床看護学各論	岡田 俊夫	○			60	60			120
		動物臨床栄養学	横山 歩	○			30	30			60
		動物医療コミュニケーション	久木 悠愛	○			30				30
		動物臨床看護学総論	宮原 佳奈	○				30			30
		動物臨床看護学実習	宮原 佳奈	○				60			60
		臨地実習	宮原 佳奈				120	120			240
		小 計（単位時間）						540	540		
	専門科目	動物医療関連法規	八木 幸隆						30	30	60
公衆衛生学		八木 幸隆	○					30	30	60	
動物行動学		小西 伴彦	○					30	30	60	
産業動物学		山口 徹	○					30	30	60	
野生動物学		山口 徹	○					30		30	
実験動物学		山口 徹	○					30		30	
パソコン実習		外部						30	30	60	
国家試験対策		宮原 佳奈						240	240	480	
臨地実習		宮原 佳奈						120	120	240	
小 計（単位時間）								570	510	1080	
合 計（単位時間）					480	510	540	540	570	510	3150
うち、実務経験のある教員の時間数（単位時間）					430	510	420	420	180	90	2050

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
グルーミング実習		動物看護学科/1年	2021/通年	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	180回	360単位時間	必須	藤田 恵理
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> 日本動物専門学校協会認定トリマー3級ライセンス取得。90分以内に爪切り、クリッピング作業、ブラッシング、耳掃除、シャンプー、ドライイング、肢周りカットを終われるような知識・技術を身につける 習得したグルーミングの作業を反復練習をことにより確実に仕上げることができ、さらに時間短縮を意識しながら授業をすすめていく。ペットカットを習得するためにクリッパーの使い方やシザーの使い方など学ぶ。また、保定など看護師として必要な技術の練習を行う 				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> 日本動物専門学校協会認定トリマー3級ライセンス取得 90分以内に爪切り、クリッピング作業、ブラッシング、耳掃除、シャンプー、ドライイング、肢周りカットを終われるような知識・技術を身につける 時間の意識、犬の扱い方を学ぶことにより、犬に負担をかけないグルーミングを習得する グルーミングを完璧に行い、部分カットやクリッパー、シザーを使用してのペットカットを習得する 				
実務経験有無	実務経験内容			
有	トリマーとしてペットショップに勤務			
時間外に必要な学修				
自宅でのシザーリング練習				
週	テーマ	内容		
1	道具の配布、道具確認、道具説明	初めてなので、道具一式のセット内容の確認と各道具の使い方を知る。ハサミの持ち方、動かし方の説明を行い、シザーリングを理解する		
2	実習室の使い方、基本的な犬の扱い方（保定方法）、爪切り、耳掃除	実習室の使い方や掃除の行い方、リードの使い方の説明 人形を使っての犬の保定の行い方、パスタを使用しての爪切りの行い方、カンシ（耳掃除に使用）の使い方を知る		
3	シャンプーの種類とゲージからの犬の出し入れの注意点	実際に犬を使っての犬舎への出し入れの練習、シャンプーの使い分けの説明 時間が余れば保定練習を実施する		
4	ウィックを使用したブラッシング、コーミング、シザーリング練習	ウィックを使用してブラッシング、コーミングの練習（手の動かし方、道具の持ち方など）シザーリング練習も実施する		
5	ウィックを使用したブラッシング、コーミング、シャンプー、ドライイング、シザーリング練習	ウィックを使用してブラッシング、コーミング、シャンプー、ドライイングの練習（反復練習）シザーリング練習も実施する		
6	ウィックを使っての振り返り練習	2組に分け、1組はドライイングまでの試験、残りは反復練習を実施する（試験は時間は決めずに作業がきちんと行われているかを判断基準とする）		
7	実際にモデル犬を使っての爪切り、耳掃除、ブラッシング、シャンプー、ドライイング	実際にモデル犬を使っての総合演習を行う（犬を扱うのは初めてなので時間は決めずに作業を行っていく）		
8	ウィックを使っての肢周りのカットの説明及びその実践	ウィックを使って講師が肢周りカットの説明を行い、その後講師が実演を行い、それを基に学生が実践する		
9	モデル犬を使ってグルーミング作業を時間を計りながら行う①	トリマー3級ライセンスに向けて90分という時間を意識しながらのグルーミング作業（自分がどの位全作業に時間をかけているのかを自覚する）		
10	モデル犬を使ってグルーミング作業を時間を計りながら行う②	先週の改善点を踏まえてどうしたら時間短縮に繋がるのかを考えながら作業を行っていき、120分以内を目標とさせる		

11	モデル犬を使ってグルーミング作業を時間を計りながら行う③	先週の改善点をさらに踏み込んで、どうしたら時間短縮に繋がるのかを考えながら作業を行っていき、100分以内を目標とさせる
12	モデル犬を使ってグルーミング作業を時間を計りながら行う④	3回の実習を踏まえて、最終的なまとめとして作業をどう行えば時間短縮に繋がるのかを考えながら作業を行っていき、90分以内を目標とさせる
13	ライセンス担当犬を使っの模擬試験	2グループに分け、1組はグルーミング実習を行い、残りのグループが90分以内での作業終了を目指す 別日にもうひとグループが同様に模擬試験を実施する
14	模擬試験の振り返り、体バリカン	模擬試験の結果を踏まえて各自の反省点を洗いだし、合格を目指し実習を実施する。 全身カットの最初の段階である体バリカンを始めていく
15	時間短縮を意識したグルーミング体バリカンシザーリング練習	模擬試験での反省点を各自自覚できたはずなので、それを踏まえて時間短縮を意識してグルーミングを実施する。 体バリカンのラインを左右対称を意識 余裕のある学生はシザーリング練習
16	最終模擬試験による各自の課題克服を踏まえたグルーミング実習体バリカン、肢カット（バリカンラインぼかし）、部分カットシザーリング練習	模擬試験で時間内に終わらなかった学生や作業に対して課題がある学生は、それを直すことを意識する。 肢のバリカンラインのぼかし作業 グルーミング犬種の部分カット
17	時間短縮を意識したグルーミング体バリカン、肢カット、グルーミング犬種の部分カット	トリマー3級合格を目指して作業時間の短縮（目標は90分以内に肢周りカット終了） 肢の形を四角柱で作る。グルーミング犬種の部分カット
18	時間短縮を目的としたグルーミング肢カット、グルーミング犬種の部分カットシザーリング練習	昼休憩までに下準備を終わらせる 肢カットを四角柱でカットした後、角を落とし丸く仕上げていく（角を落としながらカットしても良い。自分のカットしやすい方法を見つける） グルーミング犬種の部分カット（90分以内）
19	肢カットグルーミング犬種の部分カットシザーリング練習	他の学生は昼休憩までに下準備を終わらせる 肢カットを四角柱でカットした後、角を落とし丸く仕上げていく（角を落としながらカットしても良い。自分のカットしやすい方法を見つける） グルーミング犬種の部分カット(90分以内)
20	肢カット①、グルーミング犬種の部分カットシザーリング練習	肢カットを1本終わらせる（60分以内） グルーミング犬種の部分カット 余裕のある学生はシザーリング練習も行う
21	肢カット②（2本）シザーリング練習	肢カットを2本終わらせる（120分以内） グルーミング犬種の部分カット（60分以内）
22	肢カット（2本）、胸のカット①	肢カットを2本終わらせ（120分以内）、胸のカット（前肢に繋げる） グルーミング犬種の部分カット（60分以内）
23	肢カット（2本）、胸のカット②	肢カットを2本終わらせ（120分以内）、胸のカット（前肢に繋げる）※角が残らないよう意識する グルーミング犬種の部分カット（60分以内）
24	顔カットの手順、グルーミング犬種の部分カット	2年生が顔カットしながら、手順を教えてもらう グルーミング犬種の部分カット（50分以内）
25	顔カット（半分）	2年生に半分顔カットしてもらい、残り半分をカットする グルーミング犬種の部分カット（50分以内）
26	顔カット（全て）	顔カットを1年生だけで行う グルーミング犬種の部分カット（40分以内）
27～30	全身カット、顔カット、グルーミング犬種の部分カット	体バリカンを含め全身のカットを行う（肢は前後肢1本ずつ） グルーミング犬種の部分カット（40分以内）

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
疑似毛（ウィック） ドッググルーミングマニュアル （ジャパンケネルクラブ）	期末試験	100.0%	

*前期：1週8回（16単位時間） 後期：1週4回（8単位時間）

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
グルーミング理論Ⅰ		動物看護学科/1年	2021/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	宮腰 隼人
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> 犬の扱い方を理解し、各道具の使用方法・注意点を把握することで、グルーミング実習時に安全でスムーズな作業が出来るようになる。また、グルーミングの目的・各作業の目的を学び、その必要性を理解する グルーミング作業時に起こりやすい事故について理解し、応急処置の方法を身につける 				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> グルーミング、トリミングとは何かを理解する グルーミング、トリミング時に使用する道具の種類、使用方法、注意点、犬の扱い方を理解する プードル、シーザー、マルチーズ、ポメラニアン等、スタンダードを理解した上で、各犬種のトリミング技法、カット手順を体得する 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トリマーとして、ペットショップに勤務		
時間外に必要な学修				
授業の前後に予習復習をして、授業の習熟を図ること				
回	テーマ	内容		
1	グルーミング理論Ⅰについての説明 グルーミングとは何か	授業内容、取得を目指すライセンスについて解説する。 グルーミングの目的、意義、心構え、必要性を学ぶ。		
2	犬体各部の名称について	犬体名称、骨格、咬み合わせを理解する。		
3	健康の確認 (バイタルサインについて) 骨格・犬体名称・咬合小テスト	健康な犬の状態を把握する。そのために、バイタルサインの測定方法、平均値を理解する。 トリミングに必要な各部名称なので、復習テストを実施し、しっかり覚える。		
4	グルーミングについて①	爪切り・耳掃除・ブラッシング・コーミングについて、各作業の目的・道具の使い方・注意点などを理解する。		
5	グルーミングについて②	クリッピング(足裏・肛門・お腹)の目的・クリッパーの使い方・注意点を理解する。 ハサミの各部名称と種類を学ぶ。		
6	グルーミングについて③	ペイジング(肛門腺含む)の目的・注意点を学ぶ。 シャンピングについて、目的・手順・注意点を学ぶ。		
7	グルーミングについて④	リンシング・タウェリングについて、目的・手順・注意点を学ぶ。		
8	グルーミングについて⑤	ドライングについて、目的・手順・注意点を学ぶ。 足回りカットの手順と犬種別・カットスタイル別の作り方を学ぶ。		
9	グルーミング作業に関する復習テスト	爪切り～足回りカットまでの一連の作業について、その目的や注意点などの復習テストの実施。		
10	グルーミング中に 起こりやすい事故①	クリッパー、ハサミ、鉗子、耳の保定による事故、やけど(低温やけど含む)がどのような場合に起こりやすいのか、またその応急処置を学ぶ。		

11	グルーミング中に 起こりやすい事故②	脱臼、骨折、下顎骨折、熱中症について、どのような場合に起こるのか、またその応急処置を学ぶ。	
12	グルーミング中に 起こりやすい事故③	眼球脱臼、眼球の傷、結膜炎、けいれんについて、どのような場合に起こるのか、またその応急処置を学ぶ。	
13	グルーミング中に 起こりやすい事故④	呼吸困難、意識不明、ショック状態はどのような場合に起こるのか、またその応急処置を学ぶ。	
14	NAVAトリマー3級ライセンス 筆記試験対策①	筆記試験対策プリントの実施（基礎編）と解説。	
15	NAVAトリマー3級ライセンス 筆記試験対策②	筆記試験対策プリントの実施（応用編）と解説。	
教科書・教材		評価基準	評価率
最新ドッググルーミングマニュアル （ジャパンケネルクラブ） グルーミングの基礎（インターズー）		期末試験	100.0%
			その他

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
家庭動物管理学		動物看護学科/1年	2021/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	小西 伴彦
授業の概要				
ペットショップで働くために必要な動物に関連している法規や健康管理などのケアについての専門的な知識や職業倫理、ペットを扱う専門家として必要な知識、社会における動物を取り扱う者の責任と役割を理解する。				
授業終了時の到達目標				
動物取扱業者として社会背景の変化に柔軟に対応し、ペットが果たす役割の重要性を理解し、飼養者とペットとのよりよい関係づくりに尽力できる人材として、人と動物の共生社会実現に資するための知識として、動物の管理や関連する様々な法規を理解し、法規ごとに対応する業務や行為の範囲を理解している。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		①犬の訓練施設を開業 ②動物病院にてしつけ教室を開催 ③ふくい動物愛護管理支援センターに従事		
時間外に必要な学修				
テキストの読み込み、講義でのノートの復習				
回	テーマ	内容		
1	法規についての総論と概要	法規の概念を理解を進め、法規全般の学修のポイントを知る。政令と省令。条例と規則。		
2	動物取扱業者の職業倫理	動物取扱業者として必要な職業倫理の内容を理解し学修する。		
3	動物愛護のための法律知識（動物愛護管理法）	動物の愛護及び管理に関する法律の全体像と飼い主責任の内容について理解を進め学修する。		
4	動物愛護のための法律知識（動物愛護管理法）	動物の愛護及び管理に関する法律の動物取扱業の内容について理解を進め学修する。		
5	トラブル予防に関する基礎知識	顧客とのトラブル予防や対処法について学び、法律との関連性を重要視しながら対応する方法を学修する		
6	動物に関する基礎知識	犬の特性、猫の特性について学び、適切な飼養方法、管理方法について学修する		
7	動物行動学の基礎	動物の行動の専門的な知識の習得とその行動特性について学修する		
8	適切な展示方法と衛生管理、血統書について	動物の展示方法とその衛生管理全般についての専門的な知識の習得と犬の血統書について学修する		
9	狂犬病予防法、家畜伝染病予防法	狂犬病予防法と家畜伝染病予防法の内容全体の理解を進め学修する。		
10	ペットフード安全法、飼料安全法、水産資源保護法	ペットフード安全法、飼料の安全性の確保および品質の改善に関する法律の理解し学修する。		

11	感染症法、と畜場法、食鳥検査法、食品衛生法	感染症法とその法律に係る法規の内容全体を理解し学修する。		
12	身体障害者補助犬法、外来生物法、種の保存法、鳥獣保護管理法、	身体障害者補助犬法、外来生物法、種の保存法、鳥獣保護管理法に係る法規全体を理解し学修する。		
13	国際条約（ワシントン条約、ラムサール条約）、廃棄物処理法	動物に関連する国際条約の概要を理解し学修する。 （ワシントン条約、ラムサール条約についての概要）		
14	家庭動物管理士概要	家庭動物管理士としての職業倫理、専門家としての意識を高める必要な知識を学修する		
15	家庭動物管理士総論	家庭動物管理士としての役割とペットショップの在り方について議論を交えながら、専門的な知識を学修する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
家庭動物管理士テキスト3級用（一般社団法人全国ペット協会） 動物看護の教科書第1巻（緑書房） 人と動物の関係1（ファームプレス）		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ペットケアアドバイザー		動物看護学科/1年	2021/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	久木 悠愛
授業の概要				
動物の健康管理に必要な知識や技術（体のつくりや各疾患の知識、正しい飼育方法など）を実際の流れに沿って紹介し、実践的な内容も解説しながら学修する。 ペットショップの販売の仕事内容や売り場管理の仕方を教科書の内容を検証する演習なども取り入れながら習得する。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> 動物の健康管理についての正しい知識が身につく、飼い主の的確な指導やアドバイスができるようになる ペットショップにおける売り場管理の重要要素を説明することができる 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物病院で動物看護師として勤務		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習する				
回	テーマ	学修内容		
1	動物の体のしくみと主な病気① 骨	骨の働きや構造、骨格、代表的な病気について理解する		
2	動物の体のしくみと主な病気② 感覚器（耳・眼）	耳の構造、音が聞こえる仕組み、体のバランスを取る仕組み、眼球の構造、代表的な病気について理解する		
3	動物の体のしくみと主な病気③ 循環器（心臓・血管）	循環器の働き、心臓の構造、代表的な病気について理解する		
4	動物の体のしくみと主な病気④ 呼吸器（咽喉頭・気管・肺）	呼吸の仕組み、代表的な呼吸器の病気について理解する		
5	動物の体のしくみと主な病気⑤ 消化器（胃腸）	消化器の働き、消化管の運動、代表的な病気について理解する		
6	動物の体のしくみと主な病気⑥ 膵臓・肝臓	膵臓と肝臓の構造、膵液・胆汁とその働き、代表的な病気について理解する		
7	動物の体のしくみと主な病気⑦ 泌尿器（腎臓・膀胱）	泌尿器の構造、代表的な病気について理解する		
8	動物の体のしくみと主な病気⑧ ホルモン・リンパ・免疫	内分泌の器官、ホルモンの調節、リンパ・白血球など免疫、代表的な病気について理解する		
9	動物の体のしくみと主な病気⑨ 脳・脊髄・神経	神経の働きや分類、脳・脊髄・末梢神経の仕組み、代表的な病気について理解する		
10	動物の飼養管理 繁殖①	繁殖とは何か、血統書とは何か		
11	動物の飼養管理 繁殖②	犬の発情様式と交配の方法を学修する		
12	動物の飼養管理 繁殖③	猫の発情様式と交配の方法を学修する		
13	動物の飼養管理 遺伝	遺伝様式、犬猫の主な遺伝性疾患を理解する		
14	動物の飼養管理 子犬・子猫の飼育と繁殖①	子犬の健康管理の方法を学修する		

15	動物の飼養管理 子犬・子猫の飼育と繁殖②	子猫の健康管理の方法を学修する		
16	動物の衛生管理 日常の健康管理	日常の健康管理（ワクチンで予防できる疾患）について理解する		
17	動物の衛生管理 感染症とその予防①	ズーノーシスなどの感染症（ウイルス感染症）とその予防について理解する		
18	動物の衛生管理 感染症とその予防②	ズーノーシスなどの感染症（内部寄生虫）とその予防について理解する		
19	動物の衛生管理 感染症とその予防③	ズーノーシスなどの感染症（外部寄生虫）とその予防について理解する		
20	動物の衛生管理 感染症とその予防④	滅菌法と消毒法の違い、消毒薬の種類を学修し、院内感染とペットショップ内感染の予防法を理解する		
21	動物の食事管理①	栄養学の基礎知識（エネルギー、水、糖質の体内での役割や摂取量など）を学修する		
22	動物の食事管理②	栄養学の基礎知識（脂質、タンパク質の構造、体内での役割など）を学修する		
23	動物の食事管理③	栄養学の基礎知識（ビタミン、ミネラルの種類や体内での役割など）を学修する		
24	動物の食事管理④	食事を与える際の注意		
25	動物の食事管理⑤	自家製フードと市販フードのメリットデメリットを知り、食事管理の方法を学修する		
26	動物の食事管理①	肥満動物の食事管理の仕方、特別療法食の種類について学修する		
27	ペットショップの販売に関する基礎知識①	ペットの販売の仕事とその流れを理解する		
28	ペットショップの販売に関する基礎知識②	ペットショップの売り場づくりを理解する		
29	ペットショップの販売に関する基礎知識③	商品別の販売ポイントを理解する		
30	まとめ	総まとめを行う		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
ペットケアアドバイザー 一般社団法人日本動物専門学校協会（インターズー）		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
犬のしつけ学 I		動物看護学科/1年	2021/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	小西 伴彦
授業の概要				
動物行動学の分野において犬猫の行動様式の基礎知識（例：維持行動、性行動、社会的問題行動）をテキストに沿って学習し、習得する				
授業終了時の到達目標				
・犬や猫の行動様式を学ぶことで人との共存生活を送る際の問題となる行動の原因や対処方法、予防方法の基礎知識となる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		①犬の訓練施設を開業 ②動物病院にてしつけ教室を開催 ③ふくい動物愛護管理支援センターに従事		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容のノートを使用して復習すること				
回	テーマ	内容		
1	動物行動学の基礎	行動学の歴史と動物の家畜化について理解する 犬猫の周期性を理解する		
2	動物行動の基礎（犬の挨拶行動）	犬の特徴的な行動を読み解き、習性と学習の関係を理解する		
3	犬学（様々な犬種の特性）	犬種の作出と歴史を学び行動変化を理解する		
4	猫学	猫種の作出と歴史を学び行動変化を理解する		
5	行動の発現と機序	動物の行動に対する動機付けや神経伝達物質、精神的な心理状態における親和行動と攻撃行動について理解する		
6	発達ステージ（成長と学習）	発達ステージにおいて新生子期や移行期、社会期に現れる特徴的な行動や社会化を理解する		
7	発達ステージ（学習と行動の関連付け）	発達ステージにおいて若齢期や成熟期、高齢期に現れる特徴的な行動や社会化を理解する		
8	犬猫の維持行動	犬猫が維持行動として行う摂食・捕食行動、排泄や休息、グルーミング行動について理解する		
9	犬猫の性行動	犬猫の性行動におけるプロセスやメカニズムについて理解する		
10	しつけ・トレーニングの理論と応用	犬における馴化と感作を理解する		
11	しつけ・トレーニングの理論と応用	犬における古典的条件づけ・オペラント条件づけを理解する		
12	しつけ・トレーニングの理論と応用	犬猫において問題行動の定義・要因（遺伝的、生得的、環境）を理解する		
13	問題行動（基本的な考え方）	犬猫において問題行動の定義・要因（遺伝的、生得的、環境）を理解する		

14	問題行動(予防を考えた犬との生活)	犬猫が起こす問題行動に対する修正と予防法を理解する		
15	各論(トイレ・吠え・噛む)	犬猫で起こりうる問題行動についてまとめる		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門分野 動物行動学 interzoo ・動物看護コアテキスト 動物の行動と健康管理 ファームプレス ・犬のしつけ学基礎と応用 interzoo 		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
犬学		動物看護学科/1年	2021/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	長尾 麻紀子
授業の概要				
<p>一社法人ジャパンケネルクラブ(JKC)では、国際畜犬連盟(FCI)により公認された344犬種のうち、約200犬種を登録しております。全ての犬種には、繁殖指針とするための『犬種標準』が定められており、犬種標準(スタンダード)とは、各犬種の理想像を文章で書き表したものです。この授業では、犬種標準の概略を理解し、FCIで定められている犬種やJKCで決められている犬種を理解することで、各種の犬の扱いの違いを体得する。</p>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> JKCに登録されている犬種のスタンダード(原産地、沿革と用途、一般外貌、性格、サイズ、正しい歯の噛み合わせ、被毛と毛色、歩き方、そして頭部、頸、ボディ、尾、四肢等)を説明できる知識を修得する。 さまざまな犬種のスタンダードに基づいて、トリミングが出来る知識を修得する。 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トリマーとして、ペットショップに勤務		
時間外に必要な学修				
犬種図鑑を読み、予習、復習をする。				
回	テーマ	内容		
1	FCI・JKCとは何か。純犬種の理解	純犬種が登録されている国際団体FCIとそれを受けての国内団体JKCの関係について学ぶ。		
2	JKC分類10グループ別の基準	JKCが国際畜犬連盟(FCI)の分類に従い、犬の「系統」を重視したFCIが定める分類方式を採用し、10グループに分類している理由を理解する。		
3	10グループ別犬種(1~5グループ)について	1G.牧羊犬・牧畜犬、2G.使役犬、3G.テリア、4G.ダックスフンド、5G.スピッツのグループの飼育用途、犬質、特徴の理解する		
4	10グループ別犬種(6~10グループ)について	6G.嗅覚ハウンド、7G.ポインター、8G.鳥獣犬、9G.愛玩犬、10G.視覚ハウンドの飼育用途、犬質、特徴の理解する		
5	骨格・歯・かみ合わせなど	骨格名称・歯数、歯の名称・かみ合わせの種類を理解する		
6	グループ表作成(1G-3G)	1G-3G犬種表をグループ名・用途・犬種・特長を整理して、一覧表を作製する。		
7	グループ表作成(4G-6G)	4G-6G犬種表をグループ名・用途・犬種・特長を整理して、一覧表を作製する。		
8	グループ表作成(7G-10G)	7G-10G犬種表をグループ名・用途・犬種・特長を整理して、一覧表を作製する。		
9	グループ表作成(1G-10G)	1G-10G犬種表を修正・訂正して一覧表を作製する。併せて、特徴などの説明ができるように、グループでの説明演習をする。		
10	血統証明書の見方、犬種標準(スタンダード)	実際のJKCスタンダードに沿って、各セクションに沿っての説明。純粋犬種の血統についても併せて考察する。		
11	第1グループ犬種のスタンダード	1グループの代表犬種(ウエルシュ・コーギー)の沿革・外貌・サイズ・かみ合わせ・体の各部位のスタンダードで決められている項目を学修し、理解する		

12	第2グループ犬種のスタンダード	2グループの代表犬種（ドーベルマン）の沿革・外貌・サイズ・かみ合わせ・体の各部位のスタンダードで決められている項目を学修し、理解する。		
13	第3グループ犬種のスタンダード	3グループの代表犬種（テリア）の沿革・外貌・サイズ・かみ合わせ・体の各部位のスタンダードで決められている項目を学修し、理解する。		
14	第4グループ犬種のスタンダード	4グループの代表犬種（ダックスフンド）の沿革・外貌・サイズ・かみ合わせ・体の各部位のスタンダードで決められている項目を学修し、理解する。		
15	第5グループ犬種のスタンダード	5グループの代表犬種（ボメラニアン）の沿革・外貌・サイズ・かみ合わせ・体の各部位のスタンダードで決められている項目を学修し、理解する。		
16	第6グループ犬種のスタンダード	6グループの代表犬種（ビーグル）の沿革・外貌・サイズ・かみ合わせ・体の各部位のスタンダードで決められている項目を学修し、理解する。		
17	第7グループ犬種のスタンダード	7グループの代表犬種（ワイマラナー）の沿革・外貌・サイズ・かみ合わせ・体の各部位のスタンダードで決められている項目を学修し、理解する。		
18	第8グループ犬種のスタンダード	8グループの代表犬種（ゴールデン・レトリバー）の沿革・外貌・サイズ・かみ合わせ・体の各部位のスタンダードで決められている項目を学修し、理解する。		
19	第9グループ犬種のスタンダード	9グループの代表犬種（ブードル）の沿革・外貌・サイズ・かみ合わせ・体の各部位のスタンダードで決められている項目を理解する。		
20	第9グループ犬種のスタンダード	9グループの代表犬種（マルチーズ）の沿革・外貌・サイズ・かみ合わせ・体の各部位のスタンダードで決められている項目を理解する。		
21	第9グループ犬種のスタンダード	9グループの代表犬種（パピヨン、キャバリア）の沿革・外貌・サイズ・かみ合わせ・体の各部位のスタンダードで決められている項目を理解する。		
22	第10グループ犬種のスタンダード	10グループの代表犬種（ボルゾイ）の沿革・外貌・サイズ・かみ合わせ・体の各部位のスタンダードで決められている項目を理解する。		
23	グループのまとめ・小テスト	1グループから10グループの代表犬種に関してまとめの小テストを行い、間違えた箇所を自ら調べて書き直すことにより、理解する。		
24	犬種図鑑作成①	1グループ・2グループから犬種を選び、スタンダードを記入する。選んだ犬種を図解し説明できるようにする。		
25	犬種図鑑作成②	3グループ・4グループから犬種を選び、スタンダードを記入する。選んだ犬種を図解し説明できるようにする。		
26	犬種図鑑作成③	5グループ・6グループから犬種を選び、スタンダードを記入する。選んだ犬種を図解し説明できるようにする。		
27	犬種図鑑作成④	7グループ・8グループから犬種を選び、スタンダードを記入する。選んだ犬種を図解し説明できるようにする。		
28	犬種図鑑作成⑤	9グループから犬種を選び、スタンダードを記入する。選んだ犬種を図解し説明できるようにする。		
29	犬種図鑑作成⑥	10グループから犬種を選び、スタンダードを記入する。選んだ犬種を図解し説明できるようにする。最終仕上げを行う。		
30	オリジナル犬種図鑑完成 展示	オリジナルで作成した犬種図鑑を展示。デザイン・理解度を重視した作品となる。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
コミュニケーション・マナー&キャリアガイダンス（インターズー）		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎力		動物看護学科/1年	2021/前期	演習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	山本 明夫
授業の概要				
社会人としての心構え、考え方を身に付け仕事に対する価値観を醸成する。				
授業終了時の到達目標				
社会人を養い、普遍的価値を認め働くことの価値を知る。そのことにより、職業観、人生観を豊かにできる。				
実務経験有無		実務経験内容		
無				
時間外に必要な学修				
各章末の実践問題の復習				
回	テーマ	内容		
1	授業計画、目的の説明、ほめ言葉のシャワー、第1章イントロダクション①	ほめ言葉のシャワー説明、グループワーク。テキスト第1章 イントロダクション		
2	第2章 前に踏み出す力①	第2章 前に踏み出す力 STEP1 主体性、STEP2 働きかけ力、問題を解いて学修する。		
3	第2章 前に踏み出す力②	STEP3 実行力 実践問題① 特技を磨くことを学修する。実践問題② 人脈の整理、実践問題③ 目標設定を行う。		
4	第3章 考え抜く力①	STEP1 課題発見力 STEP2 計画力		
5	第3章 考え抜く力②	STEP3 創造力 実践問題① 情報収集の問題を行う。		
6	第3章 考え抜く力③	実践問題② 課題解決手法 (PDCA) 実践問題③ 仕事の優先順位、実践問題④ 意見の調整と集約 グループワークを行う。映像学習「近畿大学卒業式スピーチ」		
7	第4章チームで働く力①	STEP1 発信力、STEP2 傾聴力		
8	第1章チームで働く力②	STEP3 柔軟性、STEP4 状況把握力		
9	第4章チームで働く力①	STEP1~6 概要説明		
10	第1章チームで働く力②	グループワーク タクナル 人生相談		
11	第1章チームで働く力③	グループワーク タクナル 移動動物園①		
12	第1章チームで働く力④	グループワーク タクナル 移動動物園②		
13	第2章チームで働く力⑤	グループワーク タクナル 移動動物園③		
14	第3章チームで働く力⑥	実践問題⑤ 第一印象チェック (外見編) 実践問題⑥ 第一印象チェック (内面編) グループワークを行う。		

回	テ ー マ	内 容		
15	まとめ、振り返り	まとめ、社会人になるにあたってのコミットメントを記入し心構えを認識する。		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	社会人基礎力（FOM出版） タクナル（リアセック）	期末試験 小テスト・提出物 グループワークでの役割	30.0% 50.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物内科看護学演習		動物看護学科/1年	2021/後期	講義演習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	横山 歩
授業の概要				
犬の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査・保定などについて理解する。動物の基礎情報を収集し、診療補助から始まるトータルケアの看護知識と技術を学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
犬の扱いを知り、一般的な飼養管理を行うための知識を身に付けることができる。 動物の身体的・精神的健康を理解し、観察力を身に付けるための基礎知識が理解できる。 基本的な保定法と身体検査を実践するための基礎知識が理解できる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として、動物病院に勤務		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること				
回	テーマ	内容		
1	動物を扱う際の心構え	身支度・環境整備・手洗いと手指消毒について学び、動物を扱う際の心構えを理解する		
2	実習に臨む前の心構え 犬の一般的な管理状態	動物を扱う際の身支度・手洗い・注意点、犬の飼育環境の整え方・衛生管理を理解する		
3	犬の一般的な管理方法	犬の飼育法(給餌・飼育環境・手入れ・運動・排泄等)と衛生管理・雌雄の特徴と注意点について理解する		
4	犬の身体的特徴と扱い方	正しい抱き方・犬舎やケージからの出し入れ・診察台への上げ下ろし等を安全に行う方法を身に付ける		
5	保定	保定の重要性・原則と注意点・基本保定法4種類について理解する		
6	基本保定	立位・座位の保定における基本スタイルを学び、犬種や大きさに応じた保定を身に付ける		
7	基本保定	横臥位、伏臥位における基本スタイルを学び、犬種や大きさに応じた保定を身に付ける		
8	基本保定	基本保定4種を動画に撮り、自己・他己評価を行い復習と改善をし、正しい保定法を再度理解する		
9	デンタルケア	歯周病のメカニズムを知り、動画で動物病院での口腔ケア、実践見学で家庭での口腔ケアを理解する		
10	一般身体検査	一般身体検査の4つの方法と頭部、体幹部、四肢の検査項目を学び、正常と異常を理解する。歩様や行動の正常と異常を理解する。		
11	一般身体検査	基本的な一般身体検査を実践し、記録を付けて全身評価を行い、観察力を身に付ける		
12	バイタル	バイタルチェックとは何か・バイタルチェック項目を学び、正常値・異常値を理解する		
13	バイタル	バイタルチェックを実践し、安全安楽に配慮しながら手技を身に付ける		

回	テーマ	内 容		
14	応急処置	動物の状態確認と事例別処置方法の学習。外傷、止血法、熱傷の種類と対処法の理解。電法の種類と効果について理解する。		
15	応急処置	動物の状態確認と事例別処置方法の学習。骨折、熱中症、ショックの対処法とそれぞれの種類と効果について理解する。エマージェンシー対応のABCを理解する。		
16	シリンジ・注射針・輸液・留置針	シリンジ・針等の構造と各部位の名称、輸液の目的を知り、用途に応じた選択ができるよう基礎知識を理解する		
17	シリンジ・注射針 輸液・留置針	シリンジ・針・輸液ラインの準備と無菌操作、輸液ポンプの設定を実践し、手技を身に付ける		
18	投薬	薬剤の形状や内服薬・外用薬の種類を知り、投与方法及び注意点を理解する		
19	投薬	内服薬(錠剤・液剤)・外用薬(点眼薬)の投与方法を実践し、投薬手技を身に付ける		
20	採血保定	採血時に用いられる血管とその特徴及び採血保定の注意点を理解する		
21	採血保定	目的に応じた採血保定の方法を学び、負担の少ない正しい駆血ができるよう実践し、手技を身に付ける		
22	包帯法	包帯法の効果と様々な種類の包帯法を知り、それに使用する衛生材料の種類と使用方法を理解する		
23	包帯法	包帯法の手技、包帯装着時のモニタリング・観察・注意点到留意して個々に合った包帯法を見に付ける		
24	調剤	各種薬剤の調剤法・薬用量の計算・電子天秤の扱いを実践し、調剤の手技を身に付ける		
25	眼科	眼の解剖生理の概要・眼科疾患・眼科検査に使用する器具と検査の流れについて理解する		
26	顕微鏡・検査(糞便)	顕微鏡の各部名称とメカニズムを理解する。糞便検査の目的と項目を学び、正常と異常の判別を理解する。		
27	顕微鏡の扱い・臨床検査	顕微鏡の操作法・取り扱い方を身に付ける。各種糞便検査を実践し、結果の判別と手技を身に付ける		
28	検査(尿)	尿検査の目的と項目を学び、正常・異常の関連性を理解する。検査に使用する機器の操作・設定を理解する。		
29	検査(耳)	耳の検査の目的と項目を学び、検査項目と各疾患の関連性を理解する。		
30	臨床検査	各種尿検査・耳の検査を実践し、結果の判別と手技を身に付ける		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護実習テキスト(インターズー) 動物看護学テキスト(ファームプレス) 犬と猫の応急処置(インターズー) 輸液超入門(インターズー)		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物形態機能学Ⅰ		動物看護学科/1年	2021/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	中村 武文
授業の概要				
動物の生命維持の仕組みを形態学・機能学・生化学の面から学び生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各段階で理解するとともに病的変化について学ぶ基盤を確立する				
授業終了時の到達目標				
動物体が担う様々な役割と関連する器官の全体像を掴むことができる 正常な動物の各部分の形態を知り機能を理解することで、動物の疾病や薬理作用など臨床現場に近い学問を学ぶための基礎を構築することができる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として、動物病院に勤務		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること				
回	テーマ	学修内容		
1	形態機能学とは 生体の成り立ちと生命維持	動物の体の構成の基礎、動物の体の階層性について学び、恒常性(ホメオスタシス)について理解する		
2	細胞と体液	細胞の構造(核・細胞小器官・細胞膜)と機能について学び 体液の組成、拡散と浸透について理解する		
3	組織	上皮組織・筋組織・神経組織・結合組織の種類と分布について理解する		
4	皮膚①	動物が自ら防護するための外皮について、皮膚の組織構造・付属器について理解する		
5	皮膚②	被毛・爪・熱産生・熱拡散及び体温調節機構、高温・低温、恒温・変温について理解する		
6	皮膚③	代表的な皮膚疾患(内分泌性・アレルギー性・免疫介在性・感染性・その他)について理解する		
7	感覚器①	眼構造と付属器(眼瞼・結膜・涙器・輝板等)、視覚について理解する		
8	感覚器②	代表的な眼の疾患(局所・全体等)について理解する		
9	感覚器③	耳の構造(外・中・内耳)と聴覚、平衡覚について理解する		
10	感覚器④	代表的な耳の疾患(外耳炎・耳血腫等)について理解する		
11	感覚器⑤	嗅覚器と嗅覚、味覚器と味覚、代表的な疾患について理解する		
12	循環器①	心臓の解剖学的構造(位置と外形、内部構造)、刺激伝導系について理解する		
13	循環器②	血管系(動脈・静脈・毛細血管等)・血圧調節機構・リンパ管系について理解する		
14	循環器③	代表的な循環器疾患(先天性・その他)について理解する		

15	まとめ	確認問題と解説 前半の内容を理解できているか自己確認を行う		
16	消化器①	口・歯・唾液腺・咽頭の構造と機能、代表的な疾患について理解する		
17	消化器②	上部消化管(食道・胃)の構造と機能、代表的な疾患について理解する		
18	消化器③	下部消化管(小腸)と膵臓の構造と機能、代表的な疾患について理解する		
19	消化器④	肝臓・胆嚢、下部消化管(大腸)の構造と機能、代表的な疾患について理解する		
20	呼吸器①	呼吸器の構造(上気・下気道・肺)について理解する		
21	呼吸器②	ガス交換・換気(呼吸のメカニズム)、代表的な呼吸器疾患について理解する		
22	泌尿器①	腎臓の解剖学構造と機能(糸球体・尿細管等)、排尿路の構造、尿の貯蔵と排尿、体液の調節について理解する		
23	泌尿器②	代表的な泌尿器疾患(下部尿路疾患・尿石症等)について理解する		
24	内分泌①	主要な内分泌器官・ホルモン・ホルモンの生理作用について理解する		
25	内分泌②	代表的な内分泌疾患(甲状腺・副腎)について理解する		
26	神経①	神経細胞・中枢神経・末梢神経・脳、興奮の伝達(反射・疼痛)について理解する		
27	神経②	代表的な神経系疾患(椎間板ヘルニア等)について理解する		
28	血液①	血液の成分・血球の種類(赤血球・白血球数等)について理解する		
29	血液②	血液型・血液凝固、代表的な血液・造血器疾患について理解する		
30	まとめ	確認問題と解説 後期の内容が理解できているか自己確認を行う		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
動物看護の教科書第2巻(緑書房) 動物看護コアテキスト2 (ファームプレス) 犬と猫のからだのしくみ(インターズー) 伴侶動物解剖生理学(緑書房)		期末試験	100.0%	各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物形態機能学実習Ⅰ		動物看護学科/1年	2021/後期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	中村 武文
授業の概要				
動物の身体の形態と機能を、骨格標本や臓器模型をスケッチしたアトラス作成・歯の模型作成・骨格標本作成などを通して体得する。				
授業終了時の到達目標				
犬の身体に触れたとき、今自分が触れているところには何があるのかが立体的にわかるようになる。犬や猫の身体を構成する骨、筋、内臓器官の位置と相関関係が立体的に理解できるようになる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として、動物病院に勤務		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること				
回	テーマ	学修内容		
1	生体の成り立ち 体の表面・細胞	体の方向と用語・細胞の構造と名称・組織の種類と名称について表や図の作成を通して理解する		
2	骨の基本構造①	骨の基本構造・骨の分類・骨の役割について、表や図の作成を通して理解する		
3	骨の基本構造②	関節の構造を理解し、代表的な関節の名称とつくり・疾患を学び、図に記入をして理解する		
4	皮膚	皮膚・皮膚付属器についての図を作成し、構造や名称を理解する		
5	歯	歯の構造・種類・役割・歯式について学び、図の作成を通して理解する		
6	感覚器	眼・耳・鼻の構造と名称について、図を作成して理解する		
7	循環器	心臓・血管・リンパ管系の構造と名称について、図を作成して理解する		
8	消化管	消化管の構造と名称について図を作成し、主要な臓器のスケッチを通して位置や順序を理解する		
9	筋骨格系	筋肉の種類・つくり・伸縮・エネルギー生産について学び、図を作成して理解する		
10	呼吸器	呼吸器の構造・名称について、図の作成を通して理解する		
11	泌尿器	泌尿器の構造・名称について図を作成し、局所のスケッチをすることにより理解を深める		
12	内分泌	内分泌線とホルモンの一覧表を作成し、主要な内分泌器官について図を作成し、分類を行いながら理解する		
13	神経	神経の概略図・脳のスケッチ・主要な神経系についての図を作成して理解する		
14	血液	血球の分化・成熟、血球の分類についてのスケッチを作成して理解する		

15	まとめ	確認問題と解説 後期の内容が理解できているか自己確認を行う		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
動物看護の教科書第2巻(緑書房) 動物看護コアテキスト2 (ファームプレス) 犬と猫のからだのしくみ(インターズー) 伴侶動物解剖生理学(緑書房)		期末試験 態度点	70.0% 30.0%	各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物繁殖学		動物看護学科/1年	2021/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	久木 悠愛
授業の概要				
犬猫における繁殖の基礎知識（例：雄雌性生殖器官の構造の違い、発情の徴候や発情周期、遺伝学など）を学修し習得する。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・犬猫を基本とし、繁殖の基礎知識（発情周期、交配様式、妊娠・出産の過程など）を学ぶことで繁殖をおこなう際の正しい知識となり飼い主様への確かなアドバイスができるようになる。 ・出産時において正しい助産や母体の管理、新生子の管理ができるようになる。 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物病院で動物看護師として勤務		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習する				
回	テーマ	学修内容		
1	繁殖ということ	犬猫での性成熟と繁殖生理を学修し理解する		
2	雄性生殖器①	雄犬猫の基本的な構造（陰囊、精巣、副生殖器、外部生殖器など）を学修し理解する		
3	雄性生殖器②	雄犬猫の生殖器の異常による代表的な繁殖障害を学修し理解する		
4	雌性生殖器①	雌犬猫の基本的な構造（卵巣、子宮、膣など）を学修し理解する		
5	雌性生殖器②	雌犬猫の生殖器の異常による代表的な繁殖障害を学修し理解する		
6	性周期	発情徴候と発情、発情周期について学修し理解する		
7	排卵と交配①	自然排卵と交尾排卵についての基礎知識を学び交配適期と交配の関係を学修し理解する		
8	排卵と交配②	自然交配と人工授精を学び膣細胞の所見を学修し理解する		
9	妊娠	犬猫の妊娠における診断方法や期間、徴候などを学び偽妊娠について学修し理解する		
10	分娩①	犬猫の分娩過程と正常な分娩について学修し理解する		
11	分娩②	分娩の際に起こりうる難産や帝王切開時の助産、産後の母体管理について学修し理解する		
12	新生子管理①	条件の異なる新生子（母親がいる・いないなど）の管理の方法について学修し理解する		
13	新生子管理②	新生子に多い感染症（FIV、FeLVなど）や代表的な疾患（潜在精巣、口蓋裂、齶ヘルニアなど）を学修し理解する		
14	遺伝学の基礎知識①	犬猫の性と遺伝、生殖の方法やメンデルの法則について学修し理解する		

15	遺伝学の基礎知識②	犬猫に多い代表的な遺伝性疾患（遺伝性骨形成異常症など）について学修し理解する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎から学ぶ犬・猫の繁殖ハンドブック (interzoo) ・犬の繁殖と育児がわかる (誠文堂) ・動物看護の教科書第4巻 (緑書房) 		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物福祉・倫理		動物看護学科/1年	2021/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	横山 歩
授業の概要				
動物愛護や動物福祉(アニマルウェルフェア)、およびその基礎となる生命倫理の考え方について学ぶ。獣医療、動物愛護、動物福祉、社会奉仕などの分野に動物看護師として貢献するうえで必要な基本理念としての動物福祉の考え方を学ぶ。				
授業終了後の到達目標				
動物生命倫理の基本概念について理解できる 動物福祉の定義とその理論的基盤について理解できる 動物福祉向上の実践と社会との関わりに関する基本知識を理解できる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として、動物病院に勤務		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること				
回	テーマ	学修内容		
1	動物観の歴史の変遷	国や宗教による動物観の違いと動物の取り扱いへの影響について理解する		
2	生命倫理の概念	生命倫理の考え方、生命倫理と獣医療の関わりについて理解する		
3	動物福祉の概念①	動物福祉の考え方、5つの自由(five freedom)について学ぶ		
4	動物福祉の概念②	近代及び現代の動物愛護運動、日本における動物愛護と世界における動物福祉について理解する		
5	動物福祉の概念③	動物の権利と動物福祉思想、動物福祉に関する法と行政の仕組みの概要を学ぶ		
6	伴侶動物の福祉①	伴侶動物の適正飼育と福祉的問題、動物保護活動の現状と課題について理解する		
7	伴侶動物の福祉②	飼育放棄や殺処分問題、動物虐待の定義と現状、それぞれの対策について理解する		
8	伴侶動物の福祉③	飼育動物の災害時の対応について学ぶ		
9	伴侶動物の福祉④ グループワーク	野外に行く飼育猫の福祉を項目ごとに評価し、各々の動物福祉の考えを聴き、自分の考えを伝える		
10	学校飼育動物の福祉	動物福祉教育の意義、学校飼育動物に対して行うべき福祉的なこととは何かを理解する		
11	産業動物の福祉	産業動物における福祉的問題、国際的な福祉基準、福祉を向上させるための具体的方法について学ぶ		
12	実験動物の福祉①	実験動物における福祉的問題、3Rの概念と具体的方法について学ぶ		
13	実験動物の福祉②	国内外における動物実験の現状、身近に関係する動物実験について調べレポートを作成する		

回	テ ー マ	学修内容		
14	展示動物及び使役動物の福祉	展示動物・使役動物の福祉的問題、展示動物に対する環境エンリッチメントの種類と内容について学ぶ		
15	まとめ	確認問題を解き、解答解説を行ってこれまでの内容の理解度を把握し、総復習をする。		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	その他
動物福祉学(インターズー) 獣医倫理・福祉学(緑書房) 動物看護コアテキスト1(ファームプレス)		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
人間動物関係学		動物看護学科/1年	2021/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	小西 伴彦
授業の概要				
動物看護師として、動物が人間社会で果たしている役割やその背景と歴史について学び、人と動物の関係を心理学的および社会的な側面から理解すると共に、動物の飼育と利用の現状、動物との協働、動物を介在させた活動の社会的効果の在り方、実際の動物介在活動における実施方法と適性評価を理解した上で、現在私たちの社会で活躍している使役動物について歴史と変遷、福祉を学び、人と動物の福祉とその関係を学ぶことを目的とする。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> 動物の収集、飼育、利用の歴史を学んでいく中で、文学、芸術における動物の表現方法について理解することで、人と動物の関係は不可分で多面的であることを説明できる。 人と動物の協働の種類と動物を介在させることで人への心理的、生理的、身体的、社会的効果を理解し説明できる。 アニマルセラピーとはどういうものなのか、動物介在活動、療法、教育という3つの定義を理解し、安全に運用管理すること、施設の適性評価の方法などを学ぶ。 使役動物の歴史と福祉、補助犬の定義、育成、適性等を学び、施設や社会への受け入れなどを学びながら、使役動物の福祉について考えることで、私たちへの精神的な恩恵がどのようなものかを理解する。 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		①犬の訓練施設を開業 ②動物病院にてしつけ教室を開催 ③ふくい動物愛護管理支援センターに従事		
時間外に必要な学修				
テキストの読み込み、講義でのノートの復習				
回	テーマ	内容		
1	人と動物の関わり①世界における人と動物の関係の歴史	人と動物の関係の歴史と動物利用の歴史、動物の存在観、日本における動物との関係の歴史を学ぶ。		
2	人と動物の関わり②文学、芸術における動物の在り方と西洋における関わり	日本における動物表現は、感情に訴え「心」を表し、動物観形成に影響を与えていることを学ぶ。		
3	人と動物の関わり③日本の動物文化と日欧比較	犬の進化と人との関係と猫と人との関係を理解し、犬や猫がどのように学習し人と接してくのかを学修する。		
4	動物の飼育と利用の現状、動物飼育、動物利用の現状と協働	動物を利用する効果を理解し、その変遷と現状を把握して協働の在り方を学修する。		
5	人の生活に貢献する動物の役割、動物介在介入の歴史と健康面とその効果	トレーニングのいろいろなタイプの理解と、古典的条件づけとオペラント条件付けによる学習理論を理解し、犬や猫をどのようにトレーニングしたり、接したりすればよいかを学修する。		
6	人に貢献する動物の役割	健康面に影響を及ぼす動物の役割とその効果を学修する。		
7	動物介在活動、動物介在療法、動物介在教育について	3つの動物介在介入活動について理解し、その活動定義と内容を学修する。		
8	動物介在介入活動の歴史	動物介在介入活動の歴史とその効果を学修する。		
9	動物介在介入活動を効果的に実施する①	どのような動物を用いるべきかの定義と適性評価の方法を学修する		
10	動物介在介入活動を効果的に実施する②	脳のメカニズムと精神構造、学習の発達段階との関連と行動がどのように結びついているのかを学修する。		
11	動物介在介入活動における動物のストレス	動物を使った活動を行う際の、動物へのストレスとその解消方法を学修する。		

回	テーマ	内 容		
12	使役動物について	使役動物の種類と歴史、使役動物の福祉についてと使役の種類を学修し、使役動物の概要を理解する。		
13	身体障害者補助犬について	身体障害者補助犬の定義とその歴史、身体障害者補助犬法について学修する。		
14	補助犬の育成	盲導犬の育成、介助犬の育成、聴導犬の育成とその過程と適性について学修する。		
15	その他の使役犬について	日本における公的な使役犬について、その他の使役犬について学修する。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
応用動物看護学1（インターズー）		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物看護学概論		動物看護学科/1年	2021/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	久木 悠愛
授業の概要				
これまでの獣医療の歴史や動物看護師の職業倫理を学び、動物看護師としての社会的責務を理解する。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・日本国内での獣医療の歴史を学び、動物看護師の職域と現状が理解できる ・日本と欧米の動物看護師の職域の相違を理解し、日本での動物看護に対する概念や本質を理解することができる ・獣医師と動物看護師の担当職域の違いを学び両者の視点の違いを理解することで獣医師とは異なる視点で支援ができる 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物病院で動物看護師として勤務		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容や確認テストなどを使用して復習すること				
回	テーマ	内容		
1	獣医療の歴史	獣医療の歴史や軌跡を理解することで獣医学について学修する		
2	獣医療倫理	小動物医療における獣医師の理念や指針を理解し獣医領の職業倫理を学修する		
3	動物看護の歴史と概念	英国、欧米での動物看護の歴史と看護職の成り立ちを学び日本での動物看護師との相違を理解し学修する		
4	動物看護の概念と本質①	動物看護とは何かを学びその概念と本質について理解し学修する		
5	動物看護の概念と本質②	ナイチンゲールやヘンダーソンなどの偉人について理解し学修する		
6	動物看護の概念と本質③	動物看護に求められるものや立場を学び動物看護が果たすべき役割について理解し学修する		
7	動物看護者の倫理綱領 綱領1~2	倫理綱領1, 2について事例内容を理解し学修する		
8	動物看護者の倫理綱領 綱領3~4	倫理綱領3, 4について事例内容を理解し学修する		
9	動物看護者の倫理綱領 綱領5~6	倫理綱領5, 6について事例内容を理解し学修する		
10	動物看護者の倫理綱領 綱領7~8	倫理綱領7, 8について事例内容を理解し学修する		
11	動物看護者の倫理綱領 綱領9~10	倫理綱領9, 10について事例内容を理解し学修する		
12	動物看護者の倫理綱領 綱領11~12	倫理綱領11, 12について事例内容を理解し学修する		

回	テーマ	内 容		
13	動物看護師の倫理綱領 綱領13~14	倫理綱領13, 14について事例内容を理解し学修する		
14	動物看護師の倫理綱領 綱領15	倫理綱領15について事例内容を理解し学修する		
15	まとめ	前期の総まとめをおこなう		
16	動物看護管理①	動物看護師の業務指針や看護方式の種類について理解し学修する		
17	動物看護管理②	獣医療チームの一員としてのメンバーシップや安全管理体制としての自己管理・防止システムについて理解し学修する		
18	動物にとっての福祉・健康・QOL	動物福祉とは何かを考え福祉と健康の関係や動物に特有なQOLの課題について理解し学修する		
19	動物看護の探求	看護動物に影響を与える環境因子に対し動物看護が果たすべき役割について理解し学修する		
20	動物看護学（師）教育の変遷	欧米と日本における動物看護学（師）教育の変遷について理解し学修する		
21	動物看護理論の成立	動物看護理論の成立から過程までを理解し学修する		
22	動物看護学における課題	動物看護学における課題と動物医療を支える獣医学と動物看護学について理解し学修する		
23	動物看護の対象	動物看護が必要とされる時とはどのような時なのかを理解し学修する 動物看護の対象となるもの（動物・飼い主）について学び患者動物、飼い主家族にとってどうあるべきなのか理解し学修する		
24	動物看護師の職域、職務範囲	動物看護師の様々な仕事（診察補助・検査・手術準備・入院動物の管理など動物に直接関わる業務）を学ぶことでその場に応じた動物看護師の役割を理解し学修する		
25	動物看護師の職域と現状	動物看護師において現在の職域を学び医療現場での現状を理解し学修する		
26	動物看護師と獣医師の視点の違い	動物看護師に必要な視点「看る」と獣医師に必要な視点「診る」について理解し学修する		
27	認定動物看護師の誕生	動物看護教育の始まりと動物看護師の育成について理解し学修する		
28	動物看護師の資格制度	教育カリキュラムの誕生や認定動物看護師について理解し学修する		
29	愛玩動物看護師	動物看護師の国家資格化に関連する専門機関について理解し学修する		
30	まとめ	後期の総まとめをおこなう		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門分野基礎動物看護学（interzoo）動物看護の教科書（緑書房）イラストでやさしく解説 動物看護師の倫理綱領（interzoo）		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物感染症学		動物看護学科/1年	2021/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	45回	90単位時間	必須	中山 小百合
授業の概要				
微生物や寄生虫の分類、生物学的特性、伝播様式や発病のメカニズムについて学び、検査や診断、衛生管理、予防・治療法など感染症対策の基礎を修得する。感染防御に関わる免疫学の基礎についても学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
主にイヌやネコの感染症に関する基礎知識が身に付き、予防と看護に活かすことができる。修得した知識から、飼い主に感染症予防の大切さを伝えることができる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		薬品会社にて研究員として勤務		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること				
回	テーマ	内容		
1	感染症とは①	感染・発症・感染症の定義、感染症の経過、感染症の種類について理解する		
2	感染症とは②	感染の成立、感染成立・不成立の力関係、感染経路、感染防御について理解する		
3	病原微生物 定義・細菌	微生物の定義、細菌の構造・分類・増殖・培養・治療について理解する 特殊な細菌について学ぶ		
4	病原微生物 真菌・ウイルス	真菌の構造・形態・検査法・治療・予防、ウイルスの性状・構造・分類などの基礎知識を身に付ける		
5	病原微生物 プリオン・寄生虫	プリオンの概要・寄生虫の分類・生活環・感染経路などの基礎知識を理解する		
6	内部寄生虫 原虫類①	病原性のある主な原虫感染症について、各原虫の形態・生活環・感染経路・症状・治療・予防法について学ぶ		
7	内部寄生虫 原虫類②	病原性のある主な原虫感染症について、各原虫の形態・生活環・感染経路・症状・治療・予防法について学ぶ		
8	内部寄生虫 線虫類①	各線虫の成虫や虫卵の形態・生活環・感染経路・症状・治療・予防法について学ぶ		
9	内部寄生虫 線虫類②	各線虫の成虫や虫卵の形態・生活環・感染経路・症状・治療・予防法について学ぶ		
10	内部寄生虫 線虫類③	各線虫の成虫や虫卵の形態・生活環・感染経路・症状・治療・予防法について学ぶ		
11	内部寄生虫 吸虫類①	各吸虫の成虫や虫卵の形態・生活環・感染経路・症状・治療・予防法について学ぶ		

回	テーマ	内 容		
12	内部寄生虫 条虫類②	各条虫の成虫や虫卵の形態・生活環・感染経路・症状・治療・予防法について学ぶ		
13	内部寄生虫 条虫類③	各条虫の成虫や虫卵の形態・生活環・感染経路・症状・治療・予防法について学ぶ		
14	内部寄生虫の検査方法 虫体・虫卵の取り扱いと処理方法	検査方法の種類と目的、診断・判別について理解する 検体の管理・処理方法について正しい知識を身に付ける		
15	まとめ	確認問題と解説 前期の内容を理解できているか自己確認を行う		
16~ 17	外部寄生虫 昆虫類①	シラミ・ハジラミ類、ノミ類、双翅類の成虫の形態・生活環・感染経路・症状・治療・予防法について学ぶ		
18~ 19	外部寄生虫 昆虫類②	マダニ・ヒゼンダニ・ツツガムシ等のダニ類の形態・生活環・感染経路・症状・治療・予防法について学ぶ		
20~ 21	犬・猫の代表的な感染症①	細菌・マイコプラズマの感染経路・症状・治療・予防について学ぶ		
22~ 23	犬・猫の代表的な感染症②	クラミジア・リケッチア・真菌の感染経路・症状・治療・予防について学ぶ		
24~ 25	犬・猫の代表的な感染症③	犬のウイルス感染症の感染経路・症状・治療・予防について学ぶ		
26~ 27	犬・猫の代表的な感染症④	猫のウイルス感染症の感染経路・症状・治療・予防について学ぶ		
28~ 29	犬・猫の代表的な感染症⑤	感染症の分類を行い、一覧表にまとめる		
30~ 31	まとめ	確認問題と解説 外部寄生虫と代表的な感染症の理解度を把握する		
32~ 33	人獣共通感染症	代表的なズーノーシスの動物から人への感染様式と、予防対策について学ぶ		
34~ 35	産業・実験・野生動物の代表的な感染症	主に家畜の代表的な感染症の種類・感染源・症状について学ぶ		
36~ 37	免疫 アレルギー	免疫の種類・抗体抗原・自己免疫性疾患、アレルギーの種類等について学ぶ		
38~ 39	予防ワクチン①	ワクチンとは何か、生・不活化ワクチン、必要性和効果・コア・ノンコアワクチン・犬のワクチンについて学ぶ		
40~ 41	予防ワクチン②	猫のワクチン・ワクチンの副作用・ワクチネーションプログラムについて学ぶ		
42~ 43	衛生管理 消毒と滅菌	感染症対策・防疫対策・消毒滅菌の目的や方法等について学ぶ		
44~ 45	まとめ	確認問題と解説 ズーノーシス・その他動物の感染症・予防と衛生の基礎知識が身に付いているかの確認		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
新健康管理学 よく診る犬の疾患・猫の疾患 動物看護コアテキスト3(ファームプレス) 小動物衛生管理(ファームプレス) ヒトと動物の寄生虫鑑別アトラス 動物寄生虫学(インターズー)		期末試験	100.0%	各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること